

みんなの県政

46 / 4

No. 28

富山





予算案を説明する中田知事

県民の台所



772億4190万4千円

向こう1カ年、富山県民の暮らしを方向づける「富山県民の台所」ともいうべき46年度一般会計予算は、2月定例県議会において、772億4190万4千円と決まりました。

中田知事は、予算編成の基本方針として、45年度に引きつづき、「住みよい富山県をつくる」「富山県に繁栄をもたらす」「若い世代を育てる」の3本の柱を立て、肉付けしました。

内容的には、公害対策、社会福祉、道路整備など、暮らしを守る生活環境の整備に重点が注がれ、老人医療費の公費負担など、数多くの新規事業が盛り込まれています。(4~12ページに関連記事)

■ 表紙 井波の獅子頭













約200年前、井波瑞泉寺建立にさいし、井波に招かれた京都の名工前川三四郎は、数多くの傑作を残している。そのとき地元の大工さんが、彼の妙技を学んだのが、井波木彫の始まりといわれている。

木彫は、住宅用欄間、獅子頭、つい立、置物、パネルなど多彩であるが、なかでも大きな桐の木を彫り込んで作る獅子頭づくりがさかんである。

金色、朱、黒、そして白木の木目を生かしたものなど、大きささまざま。

最近では、祭礼用が下火となったといわれるが、商売繁昌、魔よけなど縁起の置物として会社や一般家庭用として、全国各地から注文が殺到して、製作に追われている。

一般会計 歳出予算の割合

| | |
|---|-------------|
| 議会費  | 2億4,046万円 |
| 総務費  | 33億3,612万円 |
| 民生費  | 22億3,157万円 |
| 衛生費  | 35億2,059万円 |
| 労働費  | 7億7,314万円 |
| 農業水産業費  | 163億5,374万円 |
| 商工費  | 25億7,197万円 |
| 土木費  | 169億1,031万円 |
| 警察費  | 36億5,957万円 |
| 教育費  | 194億3,021万円 |

公営公 送繁栄へ

本格化した「愛と繁栄」

46年度 主な新規事業紹介

歳出

「住みよい富山県をつくる」
「富山県に繁栄をもたらす」
「若い世代を育てる」の三つの基本方針に基づいて編成された昭和四十六年度の予算は、一般会計、特別会計を通じ、総額九六三億八、四三三万円、前年度に比べて一五・五割の伸びとなりました。

このうち一般会計は、七七二億四、一九〇万円と前年に比べて一五・三割の伸びとなりました。災害復旧費を除けば二〇・九割の伸び率となっております。これは、前年度は八月豪雨の災害復旧費が異常にふくれあがっていたためです。

政策的には「住みよい富山県をつくる」施策に、二四三億円。伸び率は七・一割にとどまっていますが、これは災害復旧費が前年度より二五億五千万円も減ったためで、これを除くと二五・一割の大幅な伸びとなっています。

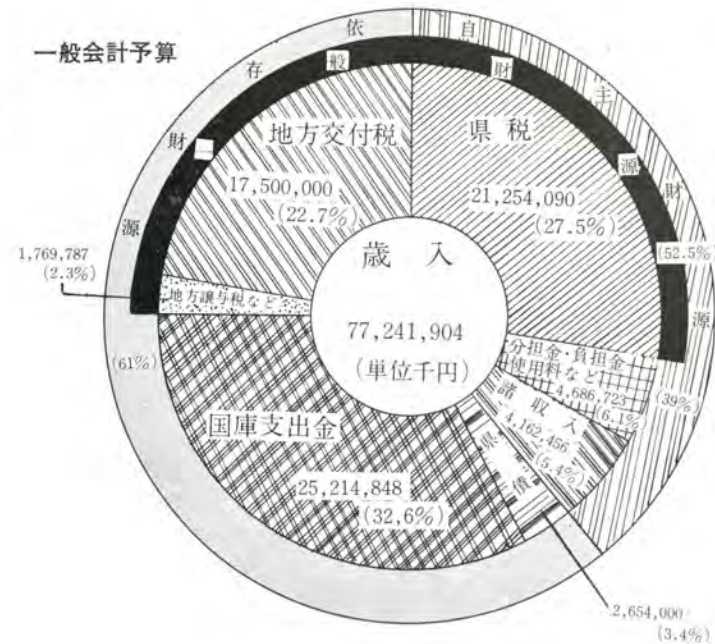
とくに力が入られたのは公害対策で、これには六億七、七〇〇万円を計上、前年に比べて七・六倍となっています。「富山県に繁栄をもたらす」

歳入

歳入については、まず主なものとして、県税は前年に比べて、二五・一割増の二二億五千万円を見込み、地方交付税は、一三・六割増の一七五億円を計上。国庫支出金は一一・一割増の二五・一億一千万円を計上して、県税などの自主財源は、三九割と前年に比べて三・一割伸びております。

| | |
|--|------------|
| 災害復旧費  | 35億4,525万円 |
| 公債費  | 28億7,097万円 |
| 諸支出金  | 6億694万円 |
| 予備費  | 11億9,100万円 |

一般会計予算



施策には、四一三億円と二八・七割伸びております。このなかで交通網の整備に八五億八千万円が計上されていますが、このうちほとんどは県道の整備にあてられ、その意味では、この分は「住みよい富山県をつくる」施策に入るともいえます。

「若い世代を育てる」施策には一九六億円がつき込まれ、一六・八割の伸びを示しております。うち一九三億円は教育の充実にあてられるほか、青年の船などにあてられます。以上のように、ことしの県政は県民とともに進むという気持で、県民中心の施策が進められることになっております。以下、一般会計予算中の新規事業を紹介いたします。



● 住みよい富山県をつくる

219億4528万3千円

公害と災害を克服して自然を保護し、緑と、澄んだ空気と、清らかな水に囲まれた生活環境をまもることは、県民の大きな願いです。
そこで、環境保全のための計画を策定し、県民が安全で健康で快適な生活ができるように、努めるとともに、老人や心身障害者などに積極的な福祉対策を進め、光のあたらない谷間に光を与え、恵まれない人々に暖かい手が差しのべられます。
さらに、保健衛生の施策を充実し、交通安全、消費、過疎、消費対策などの県民生活に密着したことがらを実施して、県民がひとしく健康で文化的な生活が営まれるよう、住みよい県土をつくる施策です。



立山ルートは6月開通 自然保護につとめよう

老人医療費に助成

▼老人医療助成費(六二、七五二千円)老人の医療費の負担を軽くするため、市町村と協力して、ことし十月から、七十五歳以上で老令福祉年金の所得制限を受けない人を対象に、本人負担の% (国民健康保険加入者

の場合の例)を助成する。
▼重度身体障害者福祉事業費(二、五一七)家にある重度の身体障害者を、医師、看護婦、ケース・ワーカーがいつしょに訪問し、健康診査、更生相談を行なう。また、日常生活に必要な浴そり、瞬間湯沸し器、便器などの給付も行なう。

▼母子家庭対策事業費(二五〇)母子家庭のみなさんは、母子学級などに招かれても、勤務などの都合で参加できない場合が多い。夏期休暇を楽しめるよう、県内の海浜三カ所に「憩いの家」を特設する。

▼保育専門学院改築費(一〇二、四三〇)校舎が老朽化したため、鉄筋コンクリート二階建てに改築する。体育館は四十七年度に建設予定。
▼寡婦福祉資金貸付金(一四〇、〇〇〇)こどもの成長によって母子福祉資金の貸付対象とな

▼精神薄弱者(児)通園施設整備費(八、〇八八)旧水見市民病院診療室の一部を利用して、精神薄弱児の保護のため、「野の草作業場」を鉄筋平屋建てに改築。定員三十名の、県下で初めての精神薄弱児通園施設をつくる。

▼白皇山保護園施設整備助成費(二二、〇〇〇)心身に著しい欠陥があり、独立して日常生活ができない人を収容している施設。老朽のため、四十四年度に一部移転改築した八尾町福島地内に、さらに九十名の収容棟を増築する補助金。

▼口腔衛生予防対策事業費(三九一)じょうぶな体をつくるためには、虫歯予防が最も大切なので、幼児二、五〇〇人に、ふっ素塗布を行なう。また、妊婦に歯の衛生を守るよう、啓蒙活動を行なう。
▼粗大ゴミ処理施設整備促進費(四五二)一般家庭などから出る粗大ゴミを処理するための実態調査と、広域的に処理するための計画を策定する。

▼白皇山保護園施設整備助成費(二二、〇〇〇)心身に著しい欠陥があり、独立して日常生活ができない人を収容している施設。老朽のため、四十四年度に一部移転改築した八尾町福島地内に、さらに九十名の収容棟を増築する補助金。
▼黒部保健所庁舎改築費(五七、六二〇)黒部保健所を近代的に整備拡充するため、鉄筋コンクリートの二階建庁舎を移転改築する。
▼口腔衛生予防対策事業費(三九一)じょうぶな体をつくるためには、虫歯予防が最も大切なので、幼児二、五〇〇人に、ふっ素塗布を行なう。また、妊婦に歯の衛生を守るよう、啓蒙活動を行なう。
▼粗大ゴミ処理施設整備促進費(四五二)一般家庭などから出る粗大ゴミを処理するための実態調査と、広域的に処理するための計画を策定する。
▼医療ネットワーク整備推進費(二、七七五)公的病院の医師不足、赤字経営改善のため、医療体制の再編成をはかる。市町村立病院などの配置と機能分

担およびへき地医療、救急医療を確保するための医療体制整備計画の策定と調査を行なう。

▼薬事衛生教育費(三三九)薬の正しい知識の普及を図るため、薬事リーダー五〇人を養成して、消費者教室を各保健所ごとに開催する。

交通遺児に激励金

▼交通遺児等、激励金(六、三三四)交通事故をはじめ、産業災害、自然災害の遺児にたいし、昨年一月一日にさかのぼっ

て、事故時に一万円、小学校入学時に一万円を贈る。

青い空をとりもどそう

▼中小企業公害防止施設整備奨励金(一一九、六六六)公害防止施設などの整備を促進するための融資で、融資限度一千万円、貸付利率年五割、償還期限七年、融資総枠三億六千万円。

▼大気汚染テレメーター導入と常時監視所建設費(三六、九五〇)富山、高岡、新湊の常時監視所のテレメーター化と富山

市奥羽と新湊市今井地区に常時監視所を増設する。

▼水質汚濁常時監視所建設費(九、一八二)小矢部川下流にシアン、酸化還元電位、PH、溶存酸素、水温、濁度などの常時自動記録所を新設する。

▼ブルーカサイ計画調査費(一、三二八)富山、高岡、新湊地域の亜硫酸ガスによる大気汚染防止を図るため、昭和五十年の目標値を設定し、実態を調査して、青い空をとりもどそうとするもの。
▼重金属環境大気調査費(二、六〇四)ばい煙を発生する事業所の周辺八地域で、大気中の浮遊粉じんおよび重金属の発生源調査、環境大気調査、気象調査を実施する。

▼自動車排出ガス環境調査費(一、七〇〇)交通量ふくそう地の大気環境の実態を把握するため、一酸化炭素、窒素酸化物、炭化水素、鉛、交通量、風向、風速を調査する。

▼水質環境基準調査費(三、〇一九)国の定めた人の健康に係る環境基準に適合しているかどうか、主要三十七河川を調査。また、利水など各河川の目的に応じ、国の定めた生活環境に係る環境基準にあてはめるた

め、主要三十一河川の水質調査をする。

▼公害防止計画策定費(二、四四〇)国の計画予定年次に先がけて、今年度から公害の著しい地域および恐れのある地域の公害防止計画に取り組みもの、大気汚染、水質汚濁などの目標値をつくる。

▼産業廃棄物処理対策推進費(五、九三五)産業廃棄物の実態調査と、将来予測される産業廃棄物の収集や処理方法の基本計画をつくるため、学識経験者や産業界代表の衆智を集めて広域計画の推進をはかる。
▼公害測定車購入費(一六、五〇〇)亜硫酸ガス、窒素酸化物、フッ素、一酸化炭素、オキシダントなどを測定するため、測定車を購入する。

▼公害センター試験機器等整備費(二九、〇〇〇)三カ年計画で、公害センターの試験検査および、研究に必要な機器などの整備充実をはかる。
▼衛生総合センター建設費(二七五、七八三)公衆衛生、環境衛生及び公害対策の基礎となる試験検査、研究部門の高度化をはかるため、相互に密接な関連を有する衛生研究所、公害センターなどを統合し、新たに衛

生総合センターを四カ年計画で設置する。今年度は公害部門を建設。

▼カドミウム汚染地農業対策展示施設費(三三二)カドミウムによる汚染土壌の改良対策としての効果が期待される処理を、現地で小規模に実施し、効果を検討する展示を作って調査する。

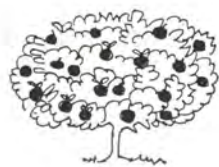
▼下水道基本調査費(一四、五〇〇)工場排水などによる河川の水質汚濁を防止するため、さきに水質保全の指定をうけた小矢部川流域新産業都市区域を流域にもつ下条川流域に、流域下水道を設置するための基本調査。

▼山村開発センター設置費(二四、八八六)上平村、平村の産業開発と社会生活機能の維持向上に、その拠点となる施設を四十五年度からの継続事業で、鉄筋三階建て建設。集会、生活改善、宿泊施設などに総合利用できる、総事業費七、七〇万円。

▼県単独山村振興事業費(五、一六五)山村振興法に基づく適格市町村のうち、新産業都市区域内で指定困難な六町村に対し、県単独で農林漁業特別開発事業を三カ年で実施する。
一市町村平均二五〇万円毎



老人のお世話をする老人家庭奉仕員



● 富山県に繁栄をもたらす

287億9760万3千円

農林水産業、商工業など産業の振興を図って、本県に繁栄をもたらすことは、中田知事の公約の一つです。

しかし、企業の繁栄は、人間尊重の精神に裏打ちされたものでなければならず、県では「公害なき繁栄」をめざします。

この精神にのっとり、中小企業などの構造改善、近代化に努め、転換期にある農業については、土地基盤整備、農村の近代化など、総合農政の推進が図られます。

その他、河川の総合開発、臨海工業地帯の建設などを進めて、バランスのとれた地域発展を図っていきます。とくに、産業発展の基盤となる地方道路網と北回り新幹線、北陸自動車道、新空港など、県民の生活をよりよくする基幹交通網の整備に力を注こうとする施策です。

土地の有効利用を計画

▼有料道路調査費(二二、〇〇〇千円) 最近の急速な自動車交通量に対応して、国土の総合的な開発と経済発展のために、一般道路と併わせて、有料道路



野菜の特産地園芸をすすめる

▼環境保全計画策定費(六四八)公害、自然破壊など、生活環境の悪化に対処して、県民の生活環境の保全をはかるため、用途地域別の環境基準、環境保全のための施設計画、制度などを内容とする。

▼農工一体化推進事業費(二二、七七三) 農業構造の改善、工業の適正配置、生活環境の整備を、農村地域において一体的に進め、農家所得の向上、地域社会の繁栄をはかることを目的に、工場誘致、道路整備、農業基盤整備、就業者対策、公害防止、環境整備などを、指定地域で集中して実施する。

▼水稲生産性向上施設導入事業(一四、〇三八) 基盤整備が

にについても積極的に整備するため、四十六年度から有料道路に必要な調査、資料を集積する。

▼富山県道路公社出資金等支出金(七六〇、〇〇〇) 地方道路公社法制定に伴ない、富山県道路公社を設立。とりあえず県道富山立山公園線の一部立山ルート、有料道路として整備する。

公社運営資金として、出資金七億円、貸付金六千万円。

▼富山空港整備費(二二六、六二〇) 飛行機の着陸に際し、天

候が悪く滑走路の位置や方向がわかりにくい場合のため、指示灯を設置して、進入角度をパイロットに視認させ、着陸の安全をはかる。

▼土地利用計画策定費(一、〇〇〇) 生活環境保全ならびに合理的な土地利用をはかるため、現在の各用途別利用計画を調整。こんごの土地需要量の推計、利用区分とその配置、主要プロジェクトとの調整などを基準として、昭和六十年を目標とする県内全域の具体的な土地利用の、マスタープランを作成する。

農村に工場を誘致

▼県民公園建設推進費(四、〇〇〇) 県民が自然に親しみながら、スポーツやレクリエーションが楽しめる憩いの場として、子供たちのための「希望の森」を含め、射水丘陵地帯を中心として、約二、〇〇〇畝の県民公園建設の調査に着手する。

▼上市川第二治水ダム建設事業費(二二、〇〇〇) 四十四年八月豪雨のため、上市川ダムに多量の土砂が流入、洪水調節機能が低下したため、現ダムより二ヶ上流地点に第二ダムを建設し、洪水対策に万全を期する。今年度は調査。



交通安全はみんなの願い

▼転落学級救済(九、五四) 本県において、年々過疎現象が深刻化し、過疎地域では小学校の児童数が減少。複式学級が増加している。今年度は四学級から二学級に減った小学校に対して、教員一名を増やす。

▼融雪装置試験調査費(七、五〇〇) 雪克服対策として、工場廃水を利用して、消雪実験

年二市町村を指定する。

▼集落整備事業費(一五、一五〇) 経済企画庁の集落再編モデル事業を行なう山田村の、奥地、過疎集落の整備事業に対し補助するもので、個人住宅に対する利子補給、住宅団地の建設に伴なう公共施設の整備、跡地

の開発に伴なう諸施設を、二カ年継続で行なう。

▼へき地医科大学負担金(四〇、〇〇〇) へき地病院などに勤務する医師養成のため、都道府県が協同しつくる医科大学設置の負担金。四十七年四月開校の予定で定員一〇〇名

を二カ所で実施する。

▼県単独消融雪施設費(四三、三五〇) ロード・ヒーティングを二カ所。消雪パイプ工を行なうため、五カ所で井戸掘を行なう。

▼消費生活センター建設費(二二、〇六四) 県民会館四階に三二〇平方メートルのスペースをとり、かしい消費者づくりのため、消費物資のテスト、苦情相談、買物相談、消費者教育などを行なう。

武道館を建設

▼社会教育振興費補助金(二〇、〇〇〇) 最近の急激な社会変動に対処して、青年教室、若妻教室、高令者学級を開設して、県民の学習機会の拡大と、人間能力の再開発につとめる。

▼派遣社会教育主事実施費(一、二九〇) 社会教育の画期的な振興を図るため、現在の教員の中から適任者を社会教育主事に任命し、市町村へ派遣することしは三名予定。

富山駅裏、市体育館隣りに明春完成の予定。

▼冬期国体スキー競技会誘致費補助金(一、二〇〇) 昭和五十年開催予定の国体冬期スキー競技会を誘致し、県民の冬期スポーツを振興する。ことしは、誘致委員会を設けて誘致活動を推進、選手と審判員の養成強化につとめる。

▼スポーツ広場の建設費(一四、二二〇) 少年サッカーやソフトボールをはじめ、ひろく体育活動を提供するため、県消防学校跡(富山市湊入船町)に一万平方米のグラウンドを造成。更衣ロッカー、シャワーを備えたク

会科学、自然科学の三コースは定員二〇〇名。社会教育コースは定員一〇〇名。受講料は無料。

▼松方コレクション展開催費(二、〇〇〇) 西洋美術の粋を鑑賞できる松方コレクション展を、富山県ではじめて、こ

ラブハウスを、七月完成予定。

▼富山警察署庁舎建設費(九七、六三〇) 現庁舎が老朽化したため、ことしから二カ年計画で現在の敷地に、鉄筋コンクリート地上六階建ての庁舎を建設する。

▼警察官派出所建設費(六、九四〇) 砺波署戸出派出所を新築する。延九十九平方メートル。

▼美女平交通検門所建設費(三、一〇七) 立山ルートの開通にとまない、美女平駅上部に交通検門所を設置する。完成は四十七年度のため、ことしはとりあえずプレハブ式のもの建設する。

▼県立自然公園指定事業(三〇、〇〇〇) 国立、国定公園に指定されていない自然景観の優れた地区の保全と、県民の野外レクリエーションの場を整備するため、県立自然公園を指定。候補地の調査や、公園計画の作成を行なう。

▼文化課の設置 社会教育課から、芸術文化、文化財保護行政を独立して、文化課を設置。地方芸術文化の振興と文化財の保護を強化する。

▼県立自然公園指定事業(三〇、〇〇〇) 国立、国定公園に指定されていない自然景観の優れた地区の保全と、県民の野外レクリエーションの場を整備するため、県立自然公園を指定。候補地の調査や、公園計画の作成を行なう。

▼文化課の設置 社会教育課から、芸術文化、文化財保護行政を独立して、文化課を設置。地方芸術文化の振興と文化財の保護を強化する。



●若い世代を育てる

193億4086万4千円

次代をになう青少年は、富山の宝です。青少年をのびのびとすこやかに、正しい豊かな人格に育てあげるには、何といっても基本は教育です。学校教育をいっそう充実するとともに、青少年の海外派遣、スポーツ施設の充実、文化活動の振興などをはかって、若い世代の健全な育成に努めようとする施策です。

若人を海外派遣

▼富山県青年の船派遣事業費 (Unit、三三三三千元) 県内在住の青年九十人を、九月二十七日から十二日間、韓国、台湾、香港に派遣し、青年に国際理解を深めさせ、社会連帯感を養う。

▼二上青少年の家体育館建設費補助金 (一四、一〇〇) 二上青少年の家に十種位のスポーツができる体育館を建設する補助金。



青少年をのびのびとすこやかに育てよう

幅広く県民の声をきく

▼地方県民相談室設置費 (二、五一四千元) 県政に対する意見や要望、苦情などの相談業務について、四月から高岡、魚津、砺波の各総合庁舎に地方相談室を設け、県民の利便をはかり、県民とともに歩む県政を遂行する。

●その他

80億7183万2千円



活気あふれる港の荷役作業

をすすめるため、富山、高岡両市の近郊に集出荷所を新設。計画生産出荷と共販体制の確立をはかる。

▼花き産地育成事業費 (二〇〇) 生活を豊かにする切花や鉢物の需要が大きいので、栽培者の組織づくり

と、技術交流、計画生産、流通対策を進めて産地を育成する。

▼畜産団地造成事業費 (三〇、八五六) 都市近郊の畜産施設の集団移転によって、環境保全と経営規模の拡大をはかるため、二年計画で黒部市 (四六年新設) 福野町 (四五年着工) が実施する事業に助成する。また先進地調査も別に行なう。

▼生乳処理合理化事業費 (一、〇〇〇) 牛乳消費量は、季節によって変動が大きく、冬季に発生する余剰乳の処理が困難なので、北陸三県、畜産振興事業団、農業団体が出資し、加工

会社を創設して酪農振興と牛乳供給の安定をはかる。

▼へい獣焼却施設設置事業 (八、五〇〇) 畜産の多頭羽飼育の伸展によって、伝染病などの疾病による死体の処理がむずかしくなってきたので、防疫を完全にし、環境衛生を保つため、農業団体が計画している高性能の焼却施設建設に助成する。

緑を守る

▼樹芸林業振興事業費 (三二九) 環境緑化のための観賞木の需要が年々増加している中で、森林組合が行なう山引苗の採取や、幼苗の購入に補助し、山村の現金収入確保対策にあわせて、自生植物の乱獲防止をはかる。

▼全国植樹祭記念造林事業補助費 (二、〇〇〇) 四十四年五月全国植樹祭において、天皇、皇后両陛下がお手播きになったタテヤマスギの苗木を、公共団体へ無償配布し、造林費の補助をする。

▼県単林道法面緑化補助事業費 (三、〇〇〇) 山肌がむき出しになっている林道は、落石やぐずれにより通行不能になること

がある。防災上も、自然景観保護の面からも、放置しておくことはできないので、三カ年計画で、幹線林道四十一路線を緑化、関係市町村に三〇割補助する。

▼水産加工残さい対策費 (五、五〇〇) 水産物加工に伴なう残さいによる、ネズミやハエ、悪臭、汚水の発生を防ぐため、年次的に残さい処理施設の新設に助成する。

中小企業の

公害施設に融資

▼中小企業技術改善促進資金 (三〇、〇〇〇) 中小企業の労働力不足に対応するとともに、体質の近代化、合理化をはかるため、省力効果が著しく、かつ高性能な機械を設備する場合には、融資限度二千万円、貸付期間五年、利子年七割。新技術の開発に要する場合には、融資限度五〇〇万円、貸付期間三年、利子年七割。

▼中小企業公害測定施設設置費 (二、〇〇〇) 中小企業が、自社の公害の実態を測定するための機器の設置が困難な場合、これに代って、商工関係団体が公害測定器具を設置したとき、県がその団体に対して助成

する。本年度は四カ所予定。

▼中小企業緊急融資資金 (一〇〇、〇〇〇) 中小企業の連鎖倒産を防ぐなど、不況時の企業金融の円滑化をはかるため、信用保証協会を通じて市中金融機関に預託。金融機関はその三倍以上にして企業に融資する。融資限度三〇〇万円、貸付期間一年、利子年八割。

▼産業労働力確保と職場適応対策費 (一、九五三) 新規卒卒者を中心に、県外労働力の積極的導入をはかるため、キャラバン隊を従前の北海道、東北、九州地域のほか、ことさらに四国、沖縄地域に拡大する。新たに北海道と秋田に駐在員を配置する。また、職場適応指導員を、高岡職業安定所に設置する。

▼農業者転職訓練費 (八、九五四) 総合農政の一環として、農業以外へ転職希望する農業者に対し、三カ月、六カ月訓練を無料で行なう。

▼短期転職訓練実施費 (六四九) 中小企業に働く技能労働者が、こんごの技術革新、労働力の流動化に対処できるように、企業の実態による受託によって、ことしは成人訓練を三八〇名予定。主に夜間二週間〜二カ月間実施する。



福井の顔



早春、神辺大橋（スガノ大橋）のうらやま
 連峰の眺め、磯部堤の桜。
 豊見橋（トヨミ）の眺望、今も
 脈々にほろり残るコトナ。

野村尚吾

野村尚吾

明治45年、富山市の生まれ。旧制神通中学（現中部高校）早稲田大学文学部を卒業後、毎日新聞社を経て、大衆文学作家として活躍。著書は「乱世詩人伝」や、第11回小説新潮賞を受けた「戦雲の座」など、数多い。

呉羽山からみた立山連峰

「六魂精浄 お山は晴天。と、あえぎながら登った日本の霊場「立山」。いまは観光地「立山」として、万天下にその名を知られている。

しかし、その雄姿は、いまもむかしも変わらず、日本の屋根、富山のシンボルとして親しまれている。

そんな姿を、富山市の呉羽山頂にたつて見ると、そこにはめまぐるしい近代の世相とともに、眺望できる。そしてそのなかに、木橋から永久橋に変わった神通大橋が、ながながと神通川を横切っている。

県政の うごき

2月15日—3月14日

- 2月15日 富山県農業者連盟結成。
- 2月18日 第17回富山県統計大会ひらく。38名表彰。
- 2月17日 世界卓球代表に福野嬢、山口嬢決定。
- 2月17日 県体は8月21日から3日間に決定
- 2月18日 第1回富山県母親大会ひらく。
母親クラブの運営や児童の健全育成などの積極的向上を研究協議。
- 2月20日 2月定例県議会ひらく。
- 2月22日 米生産調整の市町村配分きまる。
米の生産調整の市町村別目標数量を配分
昨年の2.24倍と厳しいものになった。
- 2月24日 県に特別交付金16億3千万円。
- 2月24日 新港に4企業誘致、覚書に調印。
- 3月1日 上平村の村営バス走る。
- 3月4日 職業訓練展ひらく。即売好評。
- 3月6日 県議選で初の選挙公報発行。4月の県議選から、はじめて選挙公報を発行。
県下全家庭へ配布することにきめた。
- 3月8日 46年度県予算963億8千万円。2月定例県議会で一般会計予算など83案件を原案どおり可決。今期最後の県議会を終えた
- 3月8日 各種学校設置者を表彰。
- 3月8日 自衛隊入隊者の壮行会。今春高校卒28人入隊。
- 3月8日 五カ山など特別豪雪地帯に指定か
中井衆議院災害特別委員長らは、特別豪雪地帯指定の実情を調査に来富し、五カ山地方を視察。遅くとも5月初旬までに特別豪雪地帯を指定したいと語った。



46年度予算など可決（3月8日）



「いっしょうけんめい頑張ります」と 自衛隊入隊者（3月8日）



豪雪地帯を視察する衆議院災害特別委員の一行（3月8日）



高等技能学校生の作品展示即売（3月4日）

暮の知恵



全日本プラスチック成形工業連合会のマーク

プラスチック製品

買い方、扱い方

プラスチックは、軽く、美しく、自由な形状にできるという特徴を持っている。プラスチックは、私たちの身の回りの品にたくさん使われています。

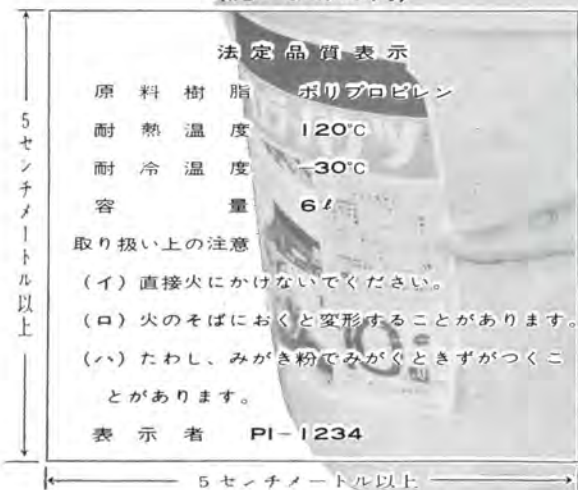
しかし、その製品の特徴を十分に理解していないために、取り扱い方が不適当であったりして、その特性を生かして使っていない場合も多くあります。

プラスチックには、熱で軟化する性質のもの、硬化する性質のもの、両方があります。熱に対する性質がまったく異なるので、食器などで不適当な取り扱いをすると、すぐだめになることもあります。

- プラスチック製品には
- ① スチロール—60℃~70℃で軟化しはじめ、ツメで軽くはじくと金属音に近い音がする。カットグラスのような加工をほどこした製品に使用。
 - ② ポリエチレン—薬品や低温に強く、落してもわれにくく、ロウのような感じのもの。指先ではじいてはじく音がする。ザル、ゴミ容器、バケツなどに使用。
 - ③ ポリプロピレン—熱に強く何回煮沸しても耐え、薬品にも強い。密閉容器や洗っておけなどに使用。
 - ④ アクリル—非常に透明度が高い。コンタクトレンズなどに使用。

- プラスチック製品には
- ① メラミン—陶磁器に似ており熱、薬品、水に強い。子供用の食器などにも使われている。
 - ② コリア—不透明で硬く、熱に強いが煮沸できない。
- いづれの樹脂もよれやすく、また傷もつきやすいので、その場合はさらし粉など漂白剤や、クレンジャーを使って製品の肌を荒らさないようにしましょう。
- 買い方のポイント**
- ① 品質表示のある商品を選びましょう。
 - ② 目的にあったものを材質、大きさ、デザインは、目的を考えて選ぶようにしましょう。一般に単純なデザインのものが、あきがこないし、実用的です。
 - ③ ときどき色はさける色の濃厚な場合は、色素の溶け出すものや、再生品が含まれている場合があります。
 - ④ 値段の安すぎるものに注意。材質の悪いものが、製造工程で手を抜いたものが多いようです。
 - ⑤ 良い店を選ぶ。
 - ⑥ 厚手のしっかりしたもの。
 - ⑦ キズ、ヨゴレに気をつけて
 - ⑧ 特にJIS規格ではプラスチック製食器については、対煮沸性の四つの区分を設けています
 - (ア) 繰り返し煮沸しても変化しない。
 - (イ) 一回の煮沸では変化しない。
 - (ウ) 煮沸すると変化するが、沸湯水を入れても変化しない。
 - (エ) 沸湯水を入れても変化しない。

(洗いおけの例)



品質表示の見方

使用樹脂名…樹脂の種類がわかればそれぞれの樹脂の特徴を考慮しながら商品を選べます。

耐熱温度…どの程度の高温にまで耐えるかを示すもので、その温度までは軟化して形がくずれたりもろくなったりすることなく普通の使用ができることを示しています。

耐冷温度…どの程度の低温にまで耐えるかを示すもので、その温度まではヒビワレしたりしないで普通の使用ができることを示しています。

水をいっぱい満たしたときの容量を示しています。

☆☆☆☆☆☆☆☆

花折りに

☆☆☆☆☆☆☆☆

漆間元三

〔黒部中学校教頭
富山県史編さん専門委員〕



雪深い富山県では、雪解けとともに一時に花が咲いてしまふ。それだけに花は春のシンボルである。

花といえば、すぐに花見を連想するが、農家の人々は稲作開始のさきぶれと思つた。苗代に種稈をまいたら、水口に御幣を立てる。杉葉をさすことならいつも行なわれているが、むかしは水口に、山からとってきた花の枝をさした。

現に石川県珠洲市では「旧四月八日に山の神が、こぶしの花に乗って田に降りられる」という伝承があり、そして「この花



が水口に立てられる」という。立山町声崎寺には、「お花山」といって、正月神である若木を手折って、各家々に迎えるのも、明らかに珠洲市のそれとともに、神の依代であったことがよくわかる。

富山県には、もう古代人が花に乗って降臨する神を迎える態

度は、失なわれてしまつていゝ。それでもまだ八尾町や水見市には、「山行き」の行事の中に、その習俗の片りんを見ることができぬ。なかでも、福光の「山行き」は年々の盛況を見せている。例年法林寺部落の山頂にある光徳寺では、蓮如をしのぶ蓮如忌が四月二十五日に行なわ

れていて、この日は村や近在の人達が寺参りに列をなして山へ登って行く。この日は会社や工場も休んで、晴れ着姿での山遊びである。老幼男女を問わず、打ちつれて見晴しのよい場所でご馳走を食べて、終日遊び暮らす。いまま土地の人々はこのことを「山行き」といって、娯楽

的な行事として行っている。この地方の人は慰安旅行も「山行き」とよびならわしているのが面白い。しかし「山行き」は本来日本の神道から発生したものであり、蓮如忌は中世に、成立した行事であるのだから、つまり古い信仰と新しい信仰が合わさってきたものであった。いずれ

にしても、昔からの信仰的な中心部は抜き去られ、花が咲けばよっぱらいがくだをまくという花見風景に変わってしまった。つまり神様を置いてきぼりにしたのが現代の花見である。ただこの福光地方に残る花折りの童謡は、神の实在を信じたころの謡であつたかと思われ。

わらき こんども 花折りに行かんか なんの花折りに桜花折りに 一本折っては腰にさし 二本折っては笠にさし

云々と、いまでも歌われはやされている。

—山の花を手折ってきて田の水戸にさし、神を祭って祝宴を設ける—この一連の行事こそ農民の古い信仰であつたらしい。

花見は春の行楽。花をめでる心。これほど季節に密着した行事は珍らしい。桜花の下で大勢が喜びをともにし、しかも勝手にたのしめるところが現代生活に合っているのだらう。いまではむしろ風流人は遠ざかり、ふだんは風流などと縁の遠そうな一般人が、利害関係を忘れる機会をもつたことに、風流めいた満足を感じている。



果樹園をやりたいが

問 ことしも米の生産調整で、昨年の二・三四倍の減反が止むを得ないと聞きます。そこで私は減反の対策として、果樹園芸をやりたいと思いましたが、なにを行うにしても資金がいるので、有利な融資制度があったらその内容、手続きを教えてください。

答 おたすねの果樹園芸関係で利用できる資金をみてみますと、あまり種類は多くありませんが、まず、農業近代化資金の三号資金が利用できます。

この資金は、果樹、オリブ、茶、ホップ、クワ、アスパラカスの植栽、育成に必要な資金を貸し付けるものです。

貸付けの対象は、農家や農業法人で貸付利子は農家で年五・二割、償還期間は農家が十五年、三年から七年の据置期間を含みます。

融資限度は、農家で二〇〇万円、法人で一、〇〇〇万円です。五十万円以上経営する農家で、とくに知事がその必要性を認めたものは、申請によって、一、〇〇〇万円まで借りること

もできます。

この資金の申し込み窓口は、農協となっています。

つぎに、果樹園経営改善資金も利用できます。

この資金は、柑橘類の果樹、リンゴ、ブドウ、ナシ、モモ、サクランボ、ビワ、カキ、クリ、ウメの新植、改植の資金として借りることが出来ます。

また、果樹の定植、樹苗育成、果樹棚の設置、樹園地の整備と、植栽二年目から成木になるまでの肥培管理の資金として

も借りることができます。

この資金を借りられる人は、農家や農業法人で、「果樹園経営計画」が知事の認可になった人です。

貸付利子は、年五・五割です。償還期間は二十五年までですが、十年以内の据置期間を含みます。融資限度は農家で二五〇万円、農業法人で一、〇〇〇万円までです。

また、台風その他で損害をこうむったときに活用できる果樹植栽資金もあります。

この資金は、災害を受けた果樹の改植や補植に必要な資金を貸し付けます。

農家や法人が、この資金を借りることができ、貸付利子は年六・五割で、償還期間は二十五年で、十年の据置期間を含みます。借りられる資金の最高額は、事業費の八割以内で申し込みは農協の窓口です。

これら資金の貸付けをうけようとするときは、その手続きが必要ですが、

まず、窓口である農協へ借入申込書を出します。

借り入れ申し込みをしてから、貸付承認を経て、実際に資金が貸し出されるまでには、普通一

か月から二か月かかりますので、窓口である農協と十分話し合おうえ、しっかりと計画をたて、資金を必要とする時期と、実際に借入金を受け取れる時期とが、うまく合致するように申し込みしてください。

(農業経済課)

このページは、みなさんの質問にお答えするコーナーです。どんなことでもお気軽にお問い合わせ下さい。

あて先は富山市新総曲輪一の七

富山県庁県民課

富山県庁県民課



井の中の蛙にならぬよう



穴場 秀子

人間の性格や、くせというものは、自分でこうだと思っても、意外とそうとも限らないということが、よくあるものだ。ことに、変わった環境に身を置いてみると、思いがけぬ自分を発見して、オヤと思ふことがある。

もう古い話になるが、私自身も、自分ではわりあい開放的な人間だと思っていたし、また他人からも、大体そのような評価を与えられていた筈だった。高校を卒業し、生まれて初めて家を離れて、大学の寮に入った。

ここで、東北、関東、関西、九州と、ほとんど日本各地の出身の人達と起居を共にしたが、この中で、案外自分は閉鎖的で、人見知りする部分がある。ネチコチと物事を考えつめると

そこにあるということに気がついた。そう思ってみると、各県各様の、いわゆるお国気質というものがあることがわかった。そういう観点から見ると、富山県人は、大体において冷静で

戦争中、昭和十九年四月頃だった。ちょうどその時、私は学徒動員により幹部候補生として、水戸陸軍航空通信学校に在学し、日々の通信に関する一切のことを教育されていた。



母

心

平尾 旨剛

母は、幼い子供達までいる多忙ななかから、一カ月にいちどぐらい、汽車に乗るのも思うにまかせないのに、面会のため夜行で来て、その日の夜行で帰っていった。

母さん、元気にやります」と、敬礼をするや、かかを返えし、さっと学校への道を直進しながら、母の一心を思い、ただ感涙に咽ぶだけだった。

復員してから一昨年まで、この母といっしょに生活してきたことは、兄弟中、長男としていちばんしあわせだったと、いまでも感謝している。

母が病んで診断を受けたあ

(富山市山町 日枝神社宮司)



なんのこれくらい
負けちゃだめだ!! ガンバレ



県立高志学園
富山市寺町205

生まれつき、あるいはケガや病気で、手や足が不自由になった子供たちが大勢いる。県内にも、こうした子供たちが約一、〇〇〇人いるといわれている。そんな子供たちのために「光のさした」学園「高志学園」がある。ここは、一口に言って障害児のために病院と学校を兼ね備え、専門的な治療と正規の義務教育が同時に受けられる施設である。

収容定員は一〇〇名で、幼児から中学生までの男女。通園訓練の制度もあり、毎週土曜日に訓練室を開放している。

きょうもこの子らが、一日も早くよくなると、園長はじめ、医師、教師、機能訓練士看護婦、保母さんら約八〇人が指導や治療にあたっている。県ではことごとくにこのような恵まれない人たちのために、積極的に予算が見込まれ、施策が進められることになっている。



上手になったネ
ただいま歩行の
訓練中。機能訓
練士はわが子の
ように…

一、二、三、四……かけ声かけて
トランポリンによる機能訓練

特殊教育学級では
工作の勉強。手先
の訓練には最適

温湯を利用してマ
ッサージをするバ
ーブラ装置



越中の伝説

①

黒薙のくも若衆

峡谷からわずかのぞいた夜空には、満月がうるんだように、ポツカリ浮かんでいた。昼だと、青葉の匂いにむせかえる。こ黒部峡谷の黒薙のいでゆも、夜のしじまのなかにひっそり。脚下の黒部川のセセラギが、サ

ラサラとひびくばかり。よしずでわずかな覆いをしただけの岩風呂には、コンコンと湧くいでゆがもりこぼれていた。湯けむりにかすんで、丈なす黒髪を湯に浮かべ、ふくよかであつ白な裸身を月光に惜しみなくさらす、美女の姿があった。この月下の妖精は、凄絶とも神秘ともたえようのないものだった。むこうの岩陰から、たくましい若者の裸身が近づく。美女は思わず胸をおおって、湯壺にうずくまった。月光にさらされた二人は、だりびなをみるような美男美女だった。二人はだまって顔を見合わせたまま、すき通るいでゆに身をひたすだけであつた。

黒部峡谷は、天下の秘境である。黒薙、鐘釣、祖母谷などの温泉が随所に熱い湯をふき、こ

の自然境を慕って湯治客が訪れる。数日前から黒薙温泉に湯治にきていた、一家族があつた。富山城下の東田地方に住むさる町家で、この娘がたぐいまれな美女。湯治にきている若者という若者は、娘にいいよつた。しかし娘は、誰にも色よいそぶりをみせなかつた。いつの間にか恋人ができていたのである。山奥にはまれな、りりしくたくましい若者だつた。二人の恋の炎は、燃えさかつた。たび重なるデートは、黒薙の湯さな



がらに、汲めども尽きせぬものだつた。「ほんとに私を愛してくださるなら、結婚して下さい」当然のことながら、娘は結婚をせまつた。「そんなことを考えないで、このまゝいつまでも、愛しあおう」

「なぜ結婚できないの」

「そなたと結婚したら、そのときこそ私たちの恋の終りになる」

「どうして——わけがわかりません」

「私にはわかるのだ。そなたに捨てられることが……」

「捨てるなんて、死んでもそんなことは……」

「どんなことがあつても、絶対に捨てないと約束してくれるか」

「エ、エ……」

若者の目はよるこびに輝き、二人はふたたび堅く抱きあつた。

飲びの一夜は、いつしか明けはじめた。娘がふと気がつく。若者の姿が見えない。驚いて布団を跳ねのけると、縁側から庭にかけて、長い長いもの糸が引いている。恐ろしさにあえていけると、サツと一陣の山風。一匹の大きな山ぐもが、長い足を伸ばして娘をひつつかんだ。気を失なつた娘を、山ぐもは大事そうに背に抱きあげた。そしてうれしそうに、黒部の山奥深く連れ去っていったのである。

八尾 正治
(県民課長)

レクリエーション コーナー



大境洞窟

阿尾城跡



至高岡



唐島



●新聞・みんなの県政

毎月最終土曜日、北日本、富山、北陸、中越新聞、朝日新聞、朝日県政

の解説をお知らせします。今月号は「14日の予定です。」

●テレビ・みんなの県政

日曜日の朝はテレビで県政を

県政の広報事項を、対談やフィルム構成で放送します。

北日本放送(7:45-8:00) 富山テレビ(11:30-11:55)

4月4日 米の生産調整 4月24日 知事による県政

●11日 県民と県財政

●18日 県立自然公園条例について

●25日 越中からの中小企業

●広報誌みんなの県政配布

県民のみなさんとの県政のパイプとして、県政のうごきを中心にした雑誌です。市町村・病院・銀行の待合室・学校・農協などへお届けしておりますので、回覧してお読みください。

新入学児童を交通事故から守ろう



一足だけ足りない
小さなくつ

あの一瞬のわき見運転が、かけがいのない幼ない生命を奪ってしまった。

もう、アッチちゃんは、永遠に帰ってこない。